

地球温暖化防止活動地域モデル事業実施結果概要

1 事業の目的

地域の特色や特徴のある取組により温室効果ガスを削減するモデル的な地球温暖化防止活動を支援することにより、県内地域社会における地球温暖化防止活動の活性化を図ることを目的とします。

2 募集

募集は一般公募とし、県のホームページ、県環境情報紙「環境かわら版」等に掲載するとともに、市町村、地球温暖化防止活動推進員、こどもエコクラブサポーター、環境保全をテーマに活動されているNPO等に通知し、モデル事業の提案を広く募りました。

その結果、15団体からの応募があり、選考を経て4団体にモデル事業を委託しました。

3 事業経過

平成17年4月21日 公募開始
平成17年6月30日 公募締切り
平成17年7月14日 選考委員会開催
平成17年8月 5日 契約締結・事業開始
(事業実施)

平成18年1月31日 事業完了
平成18年3月11日 成果報告会

4 選考された団体

	提案団体名	所在地	主な事業内容
1	○蒲郡地域の茶の間の会	蒲郡市	蒲郡独自のエコマネー（地域通貨）『がま』を立ち上げ、それをツールにして市民の地球温暖化防止活動や環境配慮活動を促進するとともに、地域経済の活性化と地域コミュニティの再生を図る。
2	○地球温暖化対策地域協議会 GEP名古屋会議	名古屋市	生活に密着したテーマから、まちぐるみの取組まで地球温暖化防止に関する内容を発展的に盛り込んだプログラムを作成。 このプログラムを親子で一緒に体験することで、家庭で地球温暖化問題について話し合う機会を創造する。
3	○特定非営利活動法人にしん 市民環境ネット	日進市	多くの方が協働して、環境をテーマにした紙芝居を作成することで、環境問題意識を啓発し、地球温暖化防止行動の担い手を増やす。
4	○特定非営利活動法人名古屋南部地域再生センター	名古屋市	地域において排出される廃食油の回収可能な量と、廃食油から作られるBDF（バイオディーゼル燃料）利用を検討している事業所の消費量について調査を行う。 BDFに係る需要と供給の関係を把握するとともに、住民に対する調査結果報告会を開催することで、廃食油地域回収とBDF利用促進を目指す。